

和泉川観測観察 水位・水質・生物

2023年1月

東山の水辺

日	曜	時刻	水位	流速	流量	雨量	気温	水温	PH	電導率	その他(生物、透視度等)				
				cm	m³/分	mm	°C	°C	μs	ア	オ	カ	ザ	ヌ	その他
1	日	17:15	15.1				7.1	6.8	7.0	200			2	2	(穏やかな年明け) シジュウカラ1
2	月	17:15	15.0			0	6.8	6.3	7.1	200				1	
3	火	17:15	14.8				5.4	6.1	7.1	200			1	3	シジュウカラ1
4	水	17:15	14.6				4.1	5.1	7.1	200			2	4	(氷結) シジュウカラ1
5	木	17:15	14.2				5.8	5.3	7.1	200	1	2		1	(水面氷結) シジュウカラ2
6	金	17:20	14.5				5.7	5.2	7.2	200		2	1	1	(潮163) (水面氷結) メジロ1 シジュウカラ2 ゴイサギ1
7	土	17:20	13.8				6.2	5.9	7.2	200	1	2		2	シジュウカラ2
8	日	17:10	13.6				6.7	6.2	7.1	210	1			4	メジロ9 シジュウカラ2
9	月	17:10	14.2				8.3	7.5	7.1	220				4	(横浜港潮位175cm) メジロ3 シジュウカラ2
10	火	17:00	12.6				5.9	5.1	6.8	200				6	シロタニカワカゲロウ1 シジュウカラ1 ヒヨドリ1
11	水	17:20	12.6				4.7	4.8	7.0	210	3	1		2	
12	木	17:00	13.0				7.6	5.7	7.1	210				4	オナガ5 シジュウカラ2
13	金	16:30	13.0			0	11.2	6.2	6.8	200			2	5	
14	土	17:10	14.6			8	9.0	8.7	6.8	200			6	8	
15	日	17:15	13.2			4	9.3	8.7	7.0	210		4		16	ダイサギ1
16	月	17:15	21.7	薄泥流	15	6.8	8.2	6.9	132	13	3	1	10	ドジョウ1 カワニナ1 ヒヨドリ2 ダイサギ1	
17	火	17:30	13.3	薄泥流		6.3	6.8	7.0	151				3	11	
18	水	17:10	13.1				7.7	7.7	7.0	220	1	2	2	12	アオジ1
19	木	17:00	12.4	薄白濁	0	6.4	6.2	7.1	171				1	11	ダイサギ1 ヒヨドリ2 シジュウカラ2
20	金	16:30	12.9			1	11.1	8.3	7.1	200		7	1	10	(大寒)
21	土	17:30	10.3				4.2	4.2	6.9	200		10		12	ヤマガラ1 シジュウカラ2
22	日	17:25	11.1	薄白濁		6.1	5.8	7.1	220		2	1	14	シジュウカラ2 ヤマガラ1 カワセミ1	
23	月	17:20	10.8	瀬切れ寸前		6.1	5.8	7.1	270		6		10	シロタニカワカゲロウ1 ダイサギ1 シジュウカラ1	
24	火	16:30	10.1	瀬切れ寸前		11.1	7.8	7.0	210	1	1		14	ヤマガラ1 シジュウカラ1	
25	水	17:20	0.0	瀬切れ		0.7					3		20	シロタニカワカゲロウ1 水面結氷 キジバト群(20)	
26	木	17:20	11.2			3.9	3.8	7.1	220		9	1	15	水面結氷 アオサギ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1	
27	金	16:30	9.3			1	3.3	3.7	6.8	200		2		14	カワウ1 ヤマガラ1 カルガモ1
28	土	17:20	10.1	薄白濁	2	4.2	4.2	6.9	210		1		32	ネズミ1 ヤマガラ2 シジュウカラ2 ダイサギ1	
29	日	17:30	8.7	白濁		3.6	3.6	7.1	200		3		10	ヒヨドリ2 シジュウカラ2 メジロ3 ヤマガラ2	
30	月	18:10	8.2	白濁		5.8	4.8	7.1	176		1	1	17		
31	火	18:15	0.0	瀬切れ		4.7					5	1	18		
計			12.0	良O	31	6.2	6.0	7.0	201	21	0	79	13	293	ドジョウ1 カワニナ1 シロタニカワカゲロウ3

特記

昨年10月末より3ヶ月間「良流」無しが続いている。降雨量が極端に少なく、今までにない異常気象になっている。これによって水位が低下し瀬切れが2日起き、予報ではしばらく降雨がなく、川は干上がってしまうであろう。水生生物減少も免れない。源流部がある上瀬谷跡地開発によって水の供給が減少することが無いよう願いたい。カワムツ稚魚が多く観察できた一方、オイカワは全く観察できなかった。「生物保護・観察区域」で1回だけアオジが観察できた。冬鳥の到来も少なく、『サイレントウインター』になっている。